

12/15 児童センタークリスマス会 持ち寄ったプレゼントを交換

児童センターで毎年恒例のクリスマス会が開催されました。子どもたちは、雄武高校ボランティア同好会の皆さんが、この日のために用意した〇×クイズやじゃんけん列車などのゲームに夢中になっていました。クリスマス会の最後に、子どもたちはそれぞれ持ち寄ったプレゼントを交換。さっそくプレゼントを開けると「うれしい!」「やった!」と笑顔を見せていました。



↑プレゼント交換を楽しむ子どもたち

↓リズムに合わせて身体を動かす参加者



12/2 社会体育振興セミナー 生涯スポーツ推進のために

12月1日から2日間にわたって、生涯スポーツの推進を目的に社会体育振興セミナーが開催されました。

2日目にスポーツセンターで行われた実技研修では、北翔大学で研究員を務める本多さんの指導のもと、参加した管内のスポーツ推進委員と生涯教育担当者は、リズム運動などのレクリエーションエクササイズを実践。知識と技術の向上を図るべく、熱心に取り組んでいました。

↓認知症サポーター養成講座の様子



12/18 認知症サポーター養成講座 認知症に対する理解を深める

町民センターで認知症サポーター養成講座が開催されました。

講師を務めた包括支援センターの職員は「認知症サポーターは特別なことをする人ではありません。温かく見守り、穏やかに接しましょう」と心構えを説明しました。

参加者は、時おり質問をしながら聴講し、認知症に対する理解を深めていました。

↓お餅つき会の様子



↑お餅をみんなで丸めました

12/5 若草保育所お餅つき会 一足早いお正月

今年も若草保育所でお餅つき会が行われました。

子どもたちは『もちつき』の歌を歌いながら、順番に力いっぱいお餅をつきました。「おいしいね」とつきたてのお餅をみんなで嬉しそうに頬張りながら、ひと足早いお正月を楽しみました。

12/11 紋別税務署租税教室 税金の大切さを学ぶ

税金の大切さと使い道をテーマに、共栄小学校で租税教室が行われました。

講師を務めた紋別税務署の早川財務事務官は「税金は共同社会を維持するための会費です。道路の管理や教科書代など身近なところで、いろんなことに使われています」と説明しました。子どもたちは興味津々な様子で授業を受け「税金がなかったら大変だね」といった感想がありました。



↑税金について勉強する子どもたち

12/7 平成24年度中国人技能実習生修了式 技能実習を終えて

町民センターで、平成24年度中国人技能実習生修了式が行われ、68名に修了証書が授与されました。

実習生を代表して、李倩（リ チェン）さんは「実習を経て、日本の先進的な加工技術を学ぶことができました。実習生活を送る中で、親切にいただいた多くの皆さまに、お礼と感謝を申し上げます」と日本語で挨拶しました。



↑修了証書を受け取る実習生

↓講演後に行われた質疑応答の様子



12/5 生きがい大学学習会 遺言のススメ

本年度最後の生きがい大学学習会が町民センターで開催されました。

紋別市で司法書士事務所を開業している西山さんが講師を務め、『生前にできること～遺言のススメ～』と題して、相続問題や遺言の作成方法について実例を交えて紹介。「書き方の不備などで無効になる恐れがない、公正証書遺言をおすすめします」と話し、参加者は熱心に耳を傾けていました。